

# 長野県SDGs推進企業登録制度について

令和元年12月  
長 野 県

## しあわせ信州創造プラン2.0 の基本目標

# 確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～

### 「確かな暮らし」とは

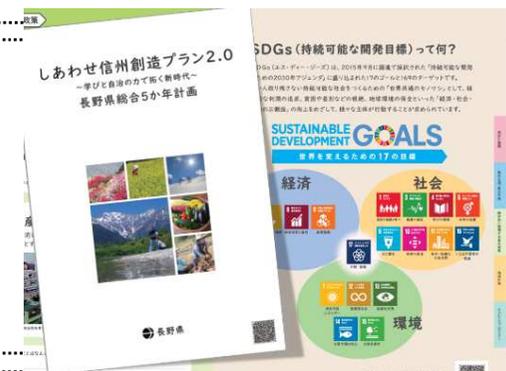
誰もが、明日への希望を持って日々の生活を送ることができ、万一の場合には温かな支援を受けることができるという安心があること

➡ **「誰一人取り残さない」というSDGsの基本理念**

### 「美しい」とは

- ・先人によって守り育てられてきた豊かな自然や農山村の原風景
- ・地域に息づく郷土への誇りや絆を大切にすること
- ・子どもから大人まで未来に向かってひた向きに努力している姿

➡ **持続可能な地域・社会**



### 「学びと自治の力」とは

与えられるだけの受動的な教育ではなく、自らを高めるために主体的に学び、これを社会や組織の中で共有し、各人が協働して地域の課題を解決していこうとする力

➡ **ゴール17  の基盤となる力**

**経済・社会・環境の三側面の統合的解決へのエンジン**

月	取組内容	月	取組内容
H30.5/25	<b>地域SDGsコンソーシアムキックオフ会議</b> ・講演「地域中小企業・自治体連携によるSDGsの重要性」(慶應義塾大学蟹江憲史教授)、意見交換	H31.2/4	<b>第5回コンソーシアム</b> ・SDGs推進に向けた新たな仕組み決定(SDGs推進のための企業登録制度)
7/13	<b>第1回コンソーシアム</b> ・コンソーシアムの目的等の意識共有 ・長野県総合5か年計画の説明	2/8	<b>県内企業を対象としたワークショップ</b> (登録制度を活用し、企業の取組とSDGsの関連付けなど 42社参加)
9/6	<b>第2回コンソーシアム</b> ・先進事例研究 (株)大川印刷 代表取締役 大川哲郎様、JETRO様 ・最新のSDGs関連の動向(慶應義塾大学蟹江憲史教授等)	3/15	<b>「中小企業・自治体等連携によるSDGsの可能性」シンポジウム2019</b> (関東経済産業局主催)(東京)
11/2	<b>第3回コンソーシアム</b> ・先進事例研究 (セイコーエプソン(株)様、MS&ADインターリスク総研(株)様) ・SDGs推進に向けた新たな仕組み検討	4/26	<b>長野県SDGsシンポジウム</b> (長野市) (G20関係閣僚会合関連事業) <b>登録制度創設/登録マーク発表</b>
12/20	<b>第4回コンソーシアム</b> ・SDGs推進に向けた新たな仕組み検討	R1.7/17	<b>第6回コンソーシアム</b> ・登録制度の申請・登録状況 ・第1期登録企業へのアンケート結果

## 【コンソーシアム参画メンバー】(14者・団体)

慶應義塾大学蟹江憲史教授、(株)クレアン、長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、八十二銀行、長野銀行、長野県信用組合、長野県信用金庫協会、長野県立大学ソーシャル・イノベーション創出センター、JETRO長野、関東経済産業局、長野県

## 【コンソーシアムオブザーバー】

三井住友海上火災保険(株)  
セイコーエプソン(株)  
(公財)地球環境戦略研究機関

## ➤ 背景

- 国際的なESG投資の拡大や非財務情報公開の義務化など、企業の社会的意義や社会との共生に対して、地域企業が取り組む必要性が増大  
→ **経営戦略へのSDGsの反映（=SDGs経営）が問われている**
- 世界共通の理念であるSDGsは「共通言語」として、今後の世界市場で国際競争力を維持・強化を図っていく上で必須のツール  
→ **ビジネス視点でのSDGsの活用が必要ではないか**

環境・社会・経済の3側面を踏まえた**SDGsが企業の経営戦略として有効**

### **＜参考＞ 企業等におけるSDGsの活用**

- ① 企業等のブランディング・イメージ向上
- ② 人材確保・育成、従業員のモチベーションアップ
- ③ 経営リスク管理
- ④ ステークホルダー（金融機関、投資家など）との連携
- ⑤ 販路拡大
- ⑥ 社会課題解決起点の新商品・サービスの開発

## ➤ 長野県内中小企業のSDGsの認知度 約13% (H30.10月 関東経済産業局調査)

(関東圏中小企業の認知度 約16%)

### 《県内企業や有識者の声》

- SDGsに取り組む課題として、「何から取り組めばいいのか分からない」という声が多数を占める。
- 既にSDGsに貢献する企業活動を行っているにもかかわらず、自社の取組とSDGsとの関係に気づいていない中小企業が多くある。
- 投資家等からSDGsの取組状況を聞かれること、海外取引などでSDGsの対応を求められることがある。
- 大学生など若い世代は確実にSDGsを意識している。商品の選択のみならず、就職先としてもSDGsに取り組む企業は優位性を有する。

「そもそも、SDGsの認知度が低い・・・」

「何から取り組めば良いか分からない・・・」

「自社活動とSDGsの関連に気付いていない・・・」ことを踏まえて、

## ➤ねらい

☞ 自社の企業活動等を整理して、SDGsとひも付けることで  
「気付き」(SDGsの見える化)を促進

☞ 「気付き」を、「具体的なアクション」(SDGsを意識した取組)につな  
げ、実践していくことで、持続可能な経営への転換、企業活動のPR強  
化、ビジネスチャンス拡大

## 長野県SDGs推進企業登録制度

- ① 経営方針や「環境・社会・経済」の重点的な取組を目標設定ととも  
に宣言 (要件1)
- ② SDGsの17ゴール・169ターゲットとひも付けた42の具体的な項  
目ごとに取組を記載 (セルフチェック) (要件2)

# SDGs達成に向けた宣言書（要件1）

（様式第2号）

## SDGs達成に向けた宣言書（要件1）

記載例

令和元年 6月10日  
 住所 ○○市○○町  
 企業名 株式会社○○  
 代表者 △△ △△ 印

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた方針及び取組を下記のとおり宣言します。

記

### SDGs達成に向けた経営方針等

弊社の経営理念である「すべての人々が幸せを感じられる社会の実現」は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりがそのことを自覚し、それぞれの役割を果たしていくことにより、SDGsの達成に貢献していきます。

3側面 (主な分野に○)	SDGs達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた指標	進捗状況
環境 社会 経済	・ 製造工程において 排出されるCO <sub>2</sub> 排出量 削減 (2019)	・ CO <sub>2</sub> 排出量の50%削減 (2019 ▲t ⇒ 2030 ●t)	・ 各部署で年1回CO <sub>2</sub> 排出量を 測定、HPで公表 ○%削減 (2019→2020)
環境 社会 経済	・ 女性管理職比率を 引き上げ (2019)	・ 女性管理職比率の20%増加 (2019 ▲%⇒ 2030 ●%)	・ 部課長への登用推進、女性管 理職比率をHPで公表 ○% (○ポイントUP) に引き 上げ (2019→2020)
環境 社会 経済	・ 地元の木材を活用 した新商品開発 (2019)	・ 地元木材活用の商品数増加 (2019 ▲商品⇒ 2030 ●商品)	・ 「△△」、「□□」など○件 の新商品を開発 (2019→2020)

- 【記載留意点】
- ・ 上記については「SDGs達成に向けた経営方針等」を記載いただくとともに、（様式第3号）「SDGs達成に向けた具体的な取組」（要件2）に記載いただいた取組を踏まえ、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
  - ・ 重点的な取組及び指標の進捗状況については、年1回以上進捗管理を行い、状況を記載してください。
  - ・ 指標は、原則として数値目標を記載してください。
  - ・ 「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組を記載してください。なお取組が複数の分野にまたがる場合は、それぞれの分野に「○」をしてください。

SDGs達成に向けた経営方針等を記載してください。

・ 「SDGs達成に向けた具体的な取組」（要件2）の内容を踏まえ重点的な取組及び目標を記載してください。  
 ・ 「進捗状況」には、「SDGs達成に向けた重点的な取組」の翌年の状況を記載してください。

「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて、該当する取組を記載してください。



# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																		
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
18	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・ISO14001、エコアクション21を取得している(2019年度)			3.9			6	7					12	13.3	14	15				
19	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・HP等で環境情報を公開し、環境報告書を発行している												12.6							
20	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工場やオフィスへの太陽光パネルの設置と利用、グリーン電力の使用に努めている							7.2							13					
21	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・認証製品(森林、パーム油、ゴム、コーヒー等)により生産される原材料、天然水産物および養殖水産物)を利用している ・非法材材を使用していないことの確認を行っている												12.2	13	14	15				
22	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等を含む行動規範を整備し、社内浸透を図っている																	16	16.5	
23	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内研修を実施している																		16	
24	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・特許、商標等知的財産権の取得・管理している ・【予定】製品開発における特許侵害調査を実施する								8.2	9										
25	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表し体制を整備している ・社内研修を行い情報管理ルールを周知徹底している ・EUの顧客データがある場合は、GDPR(EU一般データ保護規則)を踏まえた対応を行っている																		16	
26	□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社製品の原材料サプライチェーンを把握している																		16	
27	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先との対話を通じた人権侵害防止等の取組状況の確認活動を行っている ・Sedex(サプライヤーエシカル情報共有プラットフォーム)等を活用したサプライチェーン上のリスク管理を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17		
28	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している ・製品安全確保の観点を踏まえた取扱説明書を作成している			3.9									12.4							
29	□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・顧客からのクレーム対応など、品質を保証する仕組みを構築している ・顧客の声を社内共有するための基本方針・体制・ルールを策定、役職員向け研修の実施している ・【予定】ISO9001を取得する										9									
30	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・製品設計時におけるライフサイクルでの環境影響の把握を行っている						6						12	13	14	15				
31	□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・特定の社会課題解決をテーマとした製品開発を推進している(〇〇、△△の開発)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2)

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
32	<input type="checkbox"/>	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域との対話・見学会などを実施し、対話に基づき、事業の地域への影響の把握を行い改善に努めている					4								9		11	12			14	15		17			
33	<input type="checkbox"/>	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・地域の防災活動に参画している ・地域の次世代を担う人材(学生・子ども等)への交流・育成機会(キッズスクール等)を提供している ・県の消防団協力事業所表示制度に加入している					4											11					14	15		17	
34	<input type="checkbox"/>	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外販)している	チャレンジ	・【予定】地域の原材料の優先的利用を促進する														8	9		11	12	13						
35	<input type="checkbox"/>	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している ・経営者が理念を持ち、適時、経営理念、経営目標を社員に説明し、共有している															8	9									17
36	<input type="checkbox"/>	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内報や掲示板等で法令順守(コンプライアンス)の重要性を全社員に向けて発信している ・コンプライアンス研修を実施している																								16	
37	<input type="checkbox"/>	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・責任者(担当役員)、CSR管理者を任命している																								16	
38	<input type="checkbox"/>	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、具体的な内容に努めている																							16	17	
39	<input type="checkbox"/>	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・リスクマップ等を活用してリスクの洗い出し、評価を行った上で、適切な対策を講じている																								16	
40	<input type="checkbox"/>	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・CSR方針の策定、CSRマネジメントプロセスを整備している																								16	
41	<input type="checkbox"/>	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】事業継続計画(BCP)の策定、定期的な訓練を実施する ・【予定】レジリエンス認証を取得する																	9		11			13	13.1		16
42	<input type="checkbox"/>	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・後継者候補がいる ・サクセッションプラン(後継者育成計画)を作成し、検討を進めている															8	9									17

## 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

## 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。  
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

# 登録のポイント

## 1 対象者

- 長野県内に本社又は支社等を有し、県内における事業活動を行う企業、法人、団体、個人事業主

## 2 登録要件等

### (1) 登録要件（要件1と要件2の実施・申請）

- SDGs達成に向けた経営方針等と、「環境」、「社会」、「経済」の3側面の全てについて重点的な取組と目標を宣言してください。（要件1）
- （要件2）を作成後に、（要件1）を作成いただくことを想定しています。
- 県が設定した42のチェック項目について、企業活動等に照らして具体的な取組を記載（セルフチェック）してください。宣言に合わせ取り組む予定の取組を記載いただくことも可能です。（要件2）

※SDGsは、企業にあっては様々な部署に関わるものですので、全体で取組内容を検討いただくなど、工夫を図って進めていただければと考えています。

### (2) 要件2の留意点

- 「チェック項目」は、「基本」と「チャレンジ」に分かれています。「基本」の全てに「具体的な取組」を記載いただくことが登録の必須条件となります。
- 独自に設定した「チェック項目」があれば、積極的に記載してください。

## 1 登録料

- 登録にあたっての登録料などは無料です。

## 2 登録後の進捗管理

- 毎年1回以上、申請いただいた取組内容を確認いただき、新たな取組の追加・変更等を含めて県に報告してください。  
(県HP等の掲載内容の追加・変更内容などを最新のものに更新させていただきます。)
- 登録は3年の期限を設けた更新制となります。

## 3 制度説明会の開催

今年度は12月25日が最終回（これまで8回開催し、約270者が参加）

## 4 スケジュール

現在 第3期登録の受付中（随時）  
1 / 下旬（予定） 第3期登録企業の決定・公表（1月10日までの申請分）

**登録申請は、随時、受け付けています。**



■長野県SDGs推進企業登録制度に登録いただいた企業等は、2種類の登録マークを、「使用ガイドライン」に沿って企業PR等に使用いすることができます。

■使用にあたっては、「持続可能な開発目標 カラーホイールを含むSDGsロゴと17のアイコンの使用ガイドライン」（国際連合広報局）に留意してください。

## 使用可能な例：登録マークの使用がSDGsを推進する企業等であること及びその企業等が取り組む活動のPRを目的としていること

### [判断基準]

- ①登録企業であることをPRする目的で使用されているか
- ②活動をPRする目的で使用されているか

### [使用方法の例示]

- 名刺
- 企業ホームページ
- 企業パンフレット
- 社員証、社員用制服・ユニフォーム
- 社用車
- 各種イベント（看板、パンフレット等） など

## 使用不可のケース：商用目的での使用に該当するもの

### [判断基準]

主に商品自体のPRとなっている

### [使用方法の例示]

- ×JIS, JAS、FSCマーク等のように、商品そのものに一定のお墨付きを与えるような使用方法
- ×登録マークを付けることで、一定の品質・効能を有しているかのようにうたい、消費者が困惑する使用方法

# 登録企業のPR②（県ホームページ等によるPR）

	企業・団体名	住所	HP等のURL	業種区分
1	シカケデザイン  シカケデザイン	長野県東御市滋野乙4105	FB= <a href="https://www.facebook.com/shikake.design/">https://www.facebook.com/shikake.design/</a> HP= <a href="https://www.shikake.design/">https://www.shikake.design/</a>	03サービス業
2	西村弘樹リフォームコンサルティング事務所  西村弘樹 リフォームコンサルティング 事務所	長野県長野市小柴見304-2	<a href="https://reform-doctor.com/">https://reform-doctor.com/</a>	02建設業
3	一般社団法人 信州アルプス大学  信州アルプス大学 ひとりひとりがつまみ出す社会へ	長野県塩尻市広丘原新田165-3	<a href="https://www.alps-univ.net/">https://www.alps-univ.net/</a>	07教育、学習支援業
4	飯山精器株式会社 NC旋盤・センタレス・丸物部品のエキスパート 工場用IoTシステム販売  飯山精器株式会社	長野県中野市草間1162-15	<a href="http://www.iyamaseiki.co.jp">http://www.iyamaseiki.co.jp</a>	01-1製造業(非食品)
5	高木建設株式会社  高木建設株式会社	長野県長野市安茂里小市1-3-31	<a href="http://www.takagi-kk.co.jp/">http://www.takagi-kk.co.jp/</a>	02建設業

# 登録企業から寄せられた声

- 登録企業等を実施したアンケート結果から（主なもの）  
調査対象162者 回答157者 回答率96.9%

➤取り組んで良かった点

**自社活動とSDGsとの関わりを整理できた** (146者 92.3%)

**SDGsについて、社員一人一人の理解が深まった** (61者 38.9%)

➤申請にあたり、困った点

**SDGsに対する知識が殆どなく、一から理解する必要があった**  
(61者 38.9%)

**要件 1、2 の記載が難しかった** (55者 35.0%)

➤自由記載欄の意見（主なものを抜粋）

- ・登録制度を通して今後、行政との協働などを積極的に行うことでSDGsの浸透・推進がさらに加速でき、全国的にも模範となれるような活動をしたい。
- ・登録作業で、弊社の現状と課題・開発目標が客観視でき、運営面での気付きも多く有意義だった。一方、SDGsの理解により、企業の取組や事業展開に大きな差が出ている現状があり、引き続き認知度の向上に努力して欲しい。
- ・社内的にもSDGsの理解は初歩段階です。今後社内での教育を通じて有効的な活動に繋がっていきます。

# 第1期登録証交付式の様子

知事から登録証を手交



バックボードを背に記念撮影



記念撮影



登録証（イメージ）



日時：2019.7.26  
会場：長野県庁講堂  
登録企業数：80社(交付式参加者65社)

# 第2期登録証交付式の様子

知事から登録証を手交



記念撮影



知事メッセージ



日時：2019.11.13  
会場：長野県庁講堂  
登録企業数：82者（交付式参加55者）